

委員会 研修 レポート

深川市議会では、各委員会において、隔年で先進地行政視察を実施していますが、令和3年度に実施予定だった行政視察はコロナ禍の状況を踏まえ中止し、リモートによる研修を4年度に実施しました。

今回は、議会運営委員会及び厚生文教常任委員会の研修レポートを紹介します。



行政視察報告等

議会運営委員会

2月17日 地方議会総合研究所セミナー
議員が守るべき政治倫理とは

◆研修目的

近年、議員の言動・行為が問題になるケースがあり、SNS上での誹謗中傷による事件等が社会問題となる場合もあるため、より具体的に広く専門的に研さんするため、本セミナーを受講した。



研修を終えて

- ごくまれに議員に守秘義務はなく、全てオープンであると考えている議員もいる。様々な考え方があり、その言動や行動に問題がなければいいが、倫理条例でしっかり規定すべきか、深川市議会における条例制定について熟議する必要性を感じた。
(近沢委員長)
- 議員のSNS等による議会外での不適切な言動も大きな問題となっている。今後、政治倫理条例とソーシャルメディア運用ガイドラインの策定の検討を加速的に進めていくことが必要であると感じた。
(松本副委員長)
- 選挙で選ばれる私たち議員は、自らが自浄作用を働かせることが重要である。さらには、住民自らの考えで信頼できる議会、議会議員を育てるために努力が重要であると感じた。
(小田委員)
- 近年は地方議会においても、ハラスメントに関する問題が多くなっている。深川市議会としてもこれらの防止のため、方針の策定や取組等を実施することが大事であり、取り組んでいきたい。
(山本委員)
- 議員それぞれが人として守るべき道理をもって判断、行動をしていけば、条例は必要ではないという説明に感銘を受けた。それぞれが共通認識をもつことで、今後の議員活動が活性化されていくと考える。
(田畑委員)

厚生文教常任委員会

2月8日 地方議員研究会セミナー
子どもの貧困問題について

◆研修目的

本市では少子化が大きな課題になっているが、少子化対策を根本から見つめ直すことは必要不可欠であることから、今後の活動に大きく役立つものと捉え、本セミナーを受講した。



研修を終えて

- 親の働き方によらず、全ての子どもたちが夢や希望を持てる社会を構築し、子育てや貧困を家庭のみの責任とせず、子供を第一に考え、教育の支援、保護者に対する就労支援や生活の安定のための経済支援などを包括的に実施していくことの重要性を学んだ。
(松本委員長)
- 本市でも多くの施策・支援があるが、誰がどこで困っているのか、子供の貧困につながっていないのかなど、声が出せる、聞ける場を多くし、細かくアンテナを張って活動をするべきと改めて感じた。
(田畑副委員長)
- 全ての子どもに良好な育ちの環境を整えられるよう、教育費等の負担軽減、学校における指導・相談の充実、地域の教育資源の活用など、官民で連携して取り組むことが重要だと感じた。
(近沢委員)
- 指標改善に向けた具体的な支援が求められ、そのためには経済的な支援が欠かせない。全ての問題点に対して自治体や議会が先頭に立って取り組んでいくことが大事と考える。
(山本委員)
- コロナ禍においては、課題を抱えた家庭が孤立することなく地域全体で包摂する仕組みづくりが求められる。自治体施策の展開として、地域の見守る力を支援する視点が大切であると受け止めた。
(辻本委員)